

稲作情報(Vol.1)

令和3年6月3日
 宮城県石巻農業改良普及センター
 石巻地方米づくり推進本部
 TEL:0225-95-7612 FAX:0225-95-2999
 http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-sgsin-n/

～基本技術の徹底を～

4～5月の気象経過

- ◎ 平均気温は、4月上旬が平年差+1.3℃、中旬が+1.8℃と高く経過し、下旬が-0.7℃となり低くなりました。5月は全体を通して気温が高く、上旬+1.1℃、中旬+2.2℃、下旬+0.8℃となりました。
- ◎ 日照時間は、4月は平年比116%と多く、5月は102%と平年並みとなりました。
- ◎ 降水量は4月上旬が平年比29%と少なく、中旬が17日と18日にまとまった降雨があり173%、下旬は29日に51mmの降雨があり206%となりました。5月上旬は1日と2日に降雨があり159%と多く、中旬が50%と下旬が92%と少なくなりました。

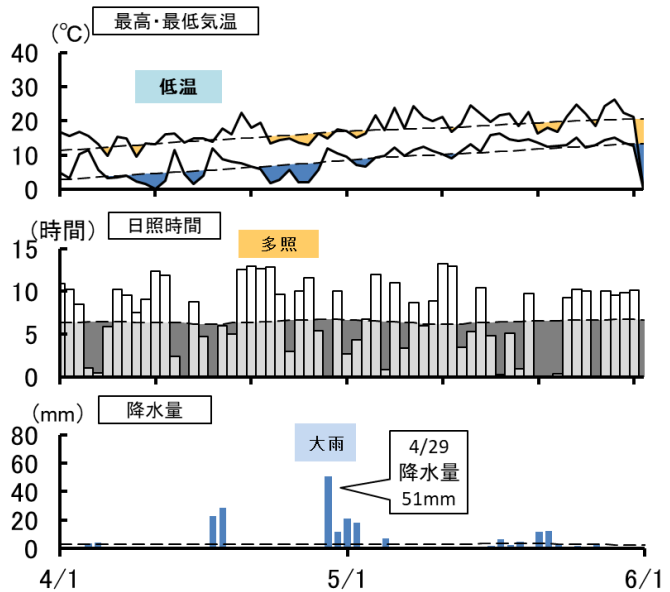


図1 4月以降の気象経過(アメダス石巻)

田植概況

- ◎ 育苗期間中、平均気温の高い日が多く、田植始期は平年並みとなりました。
- ◎ 5月上旬後半から好天が続き、田植盛期は5月7日と平年より3日早くなりました。また、県全体の田植盛期は、平年並の5月11日でした(表1)。
- ◎ 田植え以降、気温の高い日や日照時間の多い日があったことから、生育はやや緩やかに進んでいます。

表1 田植えの進行状況

項目	始期 (5%)	盛期 (50%)	終期 (95%)
石巻管内	5月2日	5月7日	5月21日
前年差	同日	同日	3日早い
平年差	1日早い	3日早い	同日
宮城県	5月4日	5月11日	5月21日
前年差	同日	同日	2日早い
平年差	1日遅い	同日	1日早い

水稻生育調査ほの生育状況(6月1日現在)

- ～ 草丈は平年並～やや長い、茎数はひとめぼれで少なく、ササニシキで多い、
葉数は少ない傾向～
- ◎ 草丈は、平年並～やや長くなっています。
- ◎ 茎数は、ひとめぼれは平年よりも少なくなっています。ササニシキは平年よりも多くなっています。
- ◎ 葉数は、平年と比較して、ひとめぼれは、ササニシキともに-1.1枚と少なくなっています。

表2 生育調査ほの調査結果(6月1日現在)

品種	調査ほ場	移植日(月/日)		草丈(cm)		茎数(本/m ²)		葉数(枚)					
		前年差(日)	平年差(日)	前年比(%)	平年比(%)	前年比(%)	平年比(%)	前年差(枚)	平年差(枚)				
ひとめぼれ	石巻広淵	5月4日	+1	0	26.9	111	111	121	119	92	5.4	-0.5	-1.0
	東松島小松	5月8日	+1	+2	21.2	91	88	118	108	70	4.9	-0.5	-1.2
	平均	5月6日	+1	+1	24.2	101	100	120	113	80	5.2	-0.5	-1.1
ササニシキ	石巻寺崎	5月8日	0	-2	26.6	130	114	126	115	117	4.6	0.1	-0.9
	石巻稲井	5月8日	-1	-1	23.4	112	103	106	104	106	4.2	-0.4	-1.2
	平均	5月8日	-2	-2	25.0	121	109	116	106	112	4.4	-0.1	-1.1

注) 平年値は過去5カ年の平均。移植日および葉数の前年差および平年差の「+」は遅い、「-」は早いを表す。

だて正夢と金のいぶきの生育状況

◎だて正夢は、過去4か年の平均値と比べ、草丈・葉数は同程度、茎数は平年並みとなっています。

◎金のいぶきは、過去2か年地と比べ、草丈は長く、茎数は平年並み、葉数は多くなっています。

表3 「だて正夢」及び「金のいぶき」普及展示ほの調査結果(6月1日現在)

品種	調査ほ場	年次	移植日(月/日)	草丈(cm)	茎数(本/m ²)	葉数(枚)
だて正夢	東松島小松	R3	5/5	30.2	128	5.6
		前年	5/5	32.3	89	5.3
		過去4カ年	5/5	30.9	125	5.7
金のいぶき	石巻蛇田	R3	5/5	31.5	147	6.7
		前年	5/12	27.7	88	5.8
		過去2カ年	5/11	28.0	100	5.7

注) だて正夢の「過去4カ年」は、H29～R2までの3カ年の平均値。
金のいぶき「過去2カ年」はR1～2までの2カ年の平均値。



写真1 だて正夢(6月1日)



写真2 金のいぶき(6月1日)

今後の管理(移植栽培)

1 水管理

- ◎ 活着後は、地温が最も高くなる3cm程度の浅水で管理し、分けつの発生を促しましょう。なお、極端な低温が続くと予想される場合には、水深をできるだけ深めにし、イネを低温から保護しましょう。
- ◎ 生わらや牛ふん堆肥等の有機物を多用している水田では、気温の上昇とともに有機物の分解が盛んになり、イネに有害な硫化水素等のガスが発生しやすくなります。このような場合には、中耕や一時的に落水するなど土壤中に酸素を供給し、根の障害を防ぎましょう。
- ◎ 除草剤を使用する場合は、使用上の注意事項をよく読み、除草剤ごとに定められた使用時期、使用量及び適切な水管理に努めましょう。

2 いもち病対策 ～ 補植用残苗は直ちに処分を！～

- ◎ 県内で発生する本田いもち病の発生源のほとんどは「補植用残苗」です。補植用残苗は速やかに処分しましょう。
- ◎ 個人防除で葉いもち予防剤などを本田施用する場合は、田植時期の早い遅いにかかわらず6月15～20日頃に施用し、処理後7日間は落水しないようにしましょう。
(※JAいしのまき環境保全米及びS基準では本田でのいもち病予防剤が使用できないので注意)
- ◎ 飼料用米や直播栽培など箱処理剤を使用していないほ場では、周辺ほ場の伝染源にならないよう、いもち病予防剤による防除を行いましょう。



写真3 ほ場の補植用残苗



写真4 補植用残苗の葉いもち

3 害虫対策

- ◎ 今年のイネミズゾウムシとイネドロオイムシの発生量はやや多いとなっています。発生時期はどちらもやや早いと予想されています(5月27日 県病虫害防除所発表)。
- ◎ イネミズゾウムシ、イネドロオイムシの防除対策は次のとおりです。
＜箱施用剤を使用した場合＞ 本田での防除は必要なし
＜箱施用剤を使用しなかった場合＞ 次の「要防除密度」により防除の実施を判断する
(※ JAいしのまき環境保全米及びS基準等では、使用できる農薬に制限があるので、防除を行う場合は、JAに相談願います。)

【要防除密度】

イネミズゾウムシ : 侵入盛期(予想5/26～31):けい畔際2m程度の成虫密度:100株当たり140頭(晩期栽培は70頭)

イネドロオイムシ : 侵入盛期(予想5/26～31):成虫密度:100株当たり25頭、
または産卵最盛期(予想6/1～5):卵塊密度:100株あたり80個

東北地方1か月予報

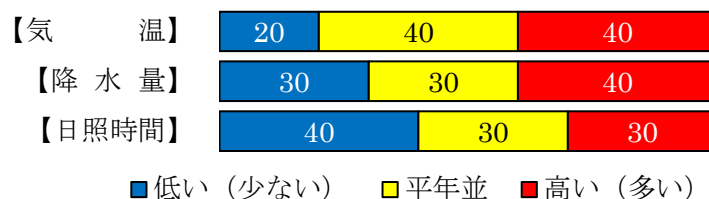
(5月29日から6月28日までの天候見通し)

令和3年5月27日 仙台管区气象台 発表

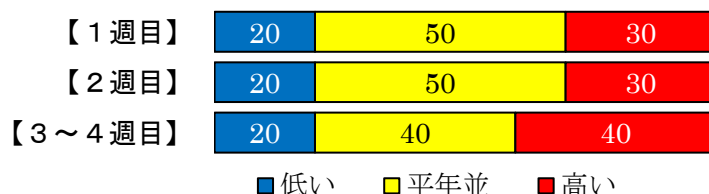
<予想される向こう1か月の天候>

期間の前半は、天気は数日の周期で変わると見られます。期間の後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いと見られます。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月:5月29日(土)～ 6月28日(月)

1週目:5月29日(土)～ 6月 4日(金) 2週目:6月 5日(土)～ 6月11日(金)

3～4週目:6月12日(土)～ 6月25日(金)

農薬の使用に当たっては、必ずラベルに記載された適用病害虫、使用方法、最終有効年限などを確認して、定められた方法を厳守してください。

最新の農薬登録情報は、農林水産消費安全技術センターホームページ<http://www.acis.famic.go.jp/searchF/vtllm001.html> で確認できます。